

東京学芸大学 パッケージ型支援プロジェクト



令和元年度シンポジウム

子どもの貧困とチームアプローチ

～「貧困社会」を乗り越える教員・教育支援者養成の課題～

2020年 2月 24日 (月)

13:00～17:00

一橋講堂

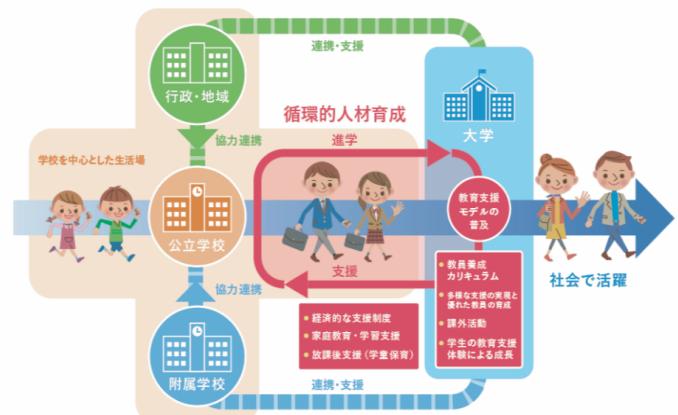
近年、様々な調査・研究によって、社会課題としての「子どもの貧困」が再注目されています。経済的困難と絡み合って生じる子どもの不利・困難に対して、総合的・包括的な教育・支援のアプローチを行うことを通じて、子どもが子ども期を安心して過ごし、様々な機会を得ながら将来に向かって自己実現していくことができるような社会を実現することは、日本社会における重要な課題となっています。

東京学芸大学では、平成27年度より研究プロジェクトが発足し、教育を核にして多領域の専門家が結集し、現代的な教育課題としての「子どもの貧困」について学際的に研究を行うとともに、自治体・学校・支援団体等、教育現場と連携・協働しながら様々な取り組みを進めてきました。

プロジェクト最終年度となる今回のシンポジウムでは、プロジェクトで取り組んできた実践研究の成果報告や、関西圏の教育現場における実践事例の共有を通じて、"見えない""見えにくい"と言われる現代の貧困を乗り越える学校や地域づくりについて議論します。

また、プロジェクトの実践に関わってきた大学生や、卒業して学校や民間企業等の様々なフィールドで活躍しているOB・OGたちにプロジェクトでの経験を振り返ってもらうことを通じて、教員養成大学における「子どもの貧困」という社会課題との向き合い方、学校教員・教育支援人材養成の課題と展望について議論します。

貧困の連鎖から支援の循環へ



参加費無料 定員 300名

事前申し込みはこちらから

<https://forms.gle/RGfvm1bcXqkAVX5Q7>



対象:学校教員、教育支援専門職(スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等)、教育委員会関係者、NPO等の教育支援活動団体関係者、貧困支援に関わる民間団体・企業、地域での支援者、大学教員、学生、市民

プログラム

【オープニング】(13:00-13:30)

学長挨拶

出口 利定(東京学芸大学長)

文部科学省講話

浅田 和伸(文部科学省総合教育政策局長)

プロジェクトの概要説明

入江 優子(東京学芸大学児童・生徒支援連携センター 准教授)

【第一部】"見えない""見えにくい"を乗り越える学校・地域づくり 事例報告(13:30-14:15)

「学校教育の土台をつくるスタートカリキュラムと授業開発の試み」

赤松 理(神奈川県小学校教育研究会生活科・総合的な学習部会長)

「"しんどさ"を地域に開くコミュニティ・スクールの実践」

井上 智弘・大城真弓(公立小学校教諭)

「子どもたちの進路を拓き・支える附属学校の実践」

小岩 大(東京学芸大学附属竹早中学校)

パネルディスカッション

-「貧困社会」を乗り越える教員養成・教育支援者養成の課題-(14:15-15:15)

<パネラー>

中島 豊(品川区教育長)

<コーディネーター>

加瀬 進(東京学芸大学児童生徒支援連携センター長・教授)

山野 則子(大阪府立大学 教授)

向本 博俊(奈良県御所市立大正中学校長)

<休憩>(15分)

【第二部】『貧困社会』を乗り越える若い力 事例報告(15:30-16:15)

「学校外の学びの場を支えるということ」

今瀬 耕佑(東京学芸大学教職大学院1年)

稻田 優輝(東京学芸大学3年)

「学生時代の教育支援実践経験の意味」

三枝 志帆(公立小学校教諭)、岡 虹曜(公立中学校教諭)、
近藤 生也(会社員)

「沖縄県やんばる地域における教育支援活動の形」

佐々木 善基(名桜大学2年 名護市学習支援教室きじむな～教室長)

対談(16:15-16:45)

<コーディネーター>

松田 恵示(東京学芸大学副学長)

田嶺 大樹(東京学芸大学児童・生徒支援連携センター 特命助教)

【クロージング】(16:45-17:00)

朝倉 隆司(東京学芸大学パッケージ型支援プロジェクト副主査・教授)

会場

一橋講堂
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

★主な交通アクセス

【東京メトロ半蔵門線】 【都営三田線、都営新宿線】

神保町駅 (A8・A9出口) 徒歩4分

【東京メトロ東西線】

竹橋駅 (1b出口) 徒歩4分

※シンポジウムの内容や申し込みに関するお問い合わせは、以下までご連絡ください。

東京学芸大学パッケージ型支援プロジェクト 児童・生徒支援連携センター TEL:042-329-7921 MAIL:ccss@u-gakugei.ac.jp

